

樹木のせん定



昨年11月27日に、南国市造園業協会（佐々木秀人会長）が行った緑地公園（東崎）の樹木のせん定作業。

ボランティアで実施されたこの活動、今後も続けていきたいとのこと。

1年のしめくくり

12月22日保健福祉センターで、リハビリ教室のもちつきが行われました。

参加した18人のお年寄りは、家族らがついてくれたおもちを、楽しそうに丸めていました。



愛の一声

聖前町婦人部（井上加寿子部長）は12月24日、地元の独居老人12人の方々を訪問し、毛布などをプレゼントしました。

これは、先に実施された持ち寄りチャリティバザーの収益金で購入したもの。思わぬ贈り物にお年寄りたちはとても感激したようでした。

同婦人部では、これからもお年寄りへの愛の一言運動を続けていくことにしています。



決意も新たに

平成六年が明けました。市内各地で、新たなスタートをきるための行事が行われました。

南国市体育始め ▶
香南清掃火入式 ▼



消防署出初め式 ▶



春の味

俳句仲間の親睦を図ろうと、1月6日に国分製菓句会（高橋蛙会長）主催の「若菜摘み俳句会」が国分寺で行われ、市内外から約100人が参加しました。今年で23回目。

参加者はセリ、ナズナなど春の七草を集めに、国分川沿いの「まほろばの道」を散策後、摘んできた若菜を鍋に入れ「若菜がゆ」をつくり、賞味。

その後、俳句愛好者らによる初句会が催され、一足早い春を満喫しました。